

令和8年3月24日（火）
秋田県循環器病対策推進協議会

資料1

第2期秋田県循環器病対策推進計画 の推進について

令和8年3月
秋田県健康福祉部医務薬事課

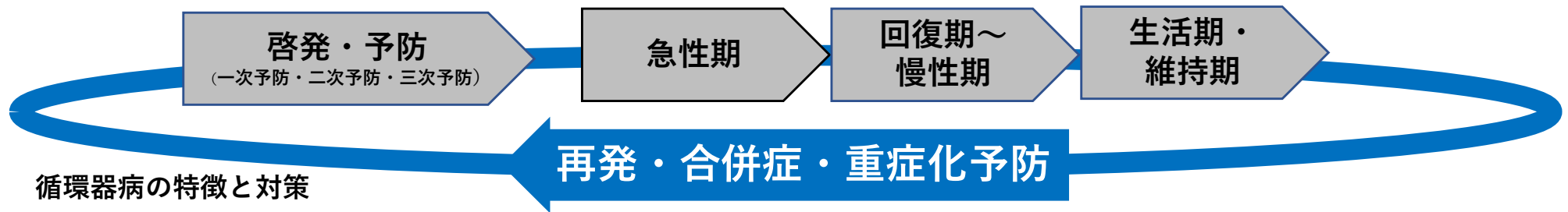
計画の趣旨

<根拠法>

「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法（循環器病対策基本法）（平成30年法律第105号）」

<基本理念>

脳卒中、心臓病その他の循環器病が、国民の疾病による死亡・介護の主要な原因になっていることに鑑み、循環器病予防等に取り組むことで、国民の健康寿命の延伸を図り、医療・介護の負担軽減に資する。



第1期秋田県循環器病対策推進計画（令和3年3月）

令和3年度～5年度（3年間）

計画の位置づけ：循環器病対策基本法に規定する都道府県循環器病対策推進計画であり地域の実情を踏まえて策定

第2期秋田県循環器病対策推進計画（令和6年3月）

令和6年度～11年度（6年間）

※医療保健福祉計画など関係する諸計画との調和の観点から6年間とする

<基本方針>

法の基本理念の基、本県の実情を踏まえた次に掲げる施策を展開し、「健康寿命の延伸」及び「循環器病の年齢調整死亡率の減少」を目指す。

- (1) 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発
- (2) 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実
- (3) 循環器病の研究推進

代表指標の状況

代表指標 1 健康寿命の延伸

※R1年が本計画策定時の基準値

指標名	区分	R 1 年	R 4 年	延伸
秋田県の健康寿命 (日常生活に制限のない期間の平均)	男性	72.61	72.43	△ 0.18
	女性	76.00	75.67	△ 0.33
【参考】全国の健康寿命 (日常生活に制限のない期間の平均)	男性	72.68	72.57	△ 0.11
	女性	75.38	75.67	0.29

R 11年 目標値
平均寿命の増加分 を上回る健康寿命 の増加

出典：厚生労働科学研究

「健康寿命における将来予想生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」

	区分	R 1 年	R 4 年	延伸
【参考】平均寿命（秋田県）	男性	80.40	79.89	△ 0.51
	女性	86.59	86.46	△ 0.13

出典：R6.12.24 第4回健康日本21（第三次）推進専門委員会 資料1-1

	区分	R 1 年	R 4 年	延伸
【参考】平均寿命（全国）	男性	81.41	81.05	△ 0.36
	女性	87.45	87.09	△ 0.36

出典：厚生労働省「簡易生命表」

代表指標の状況

代表指標2 脳血管疾患、心疾患による年齢調整死亡率の減少

※R4年が本計画策定時の基準値

指標名	区分	年						R11年 目標値
		R 1 年	R 2 年	R 3 年	R 4 年	R 5 年	R 6 年	
脳血管疾患による年齢調整死亡率 (人口10万人対)	男性	48.8	46.1	47.3	45.5	45.6	38.1	37.0
	女性	23.9	24.8	25.5	22.3	22.4	23.5	18.8
心疾患による年齢調整死亡率 (人口10万人対)	男性	53.3	56.6	55.3	51.5	55.3	55.3	47.0
	女性	27.3	25.4	25.4	27.1	28.7	26.7	25.4

出典：厚生労働省「人口動態統計」を基に県健康づくり推進課が算出

【参考】 全国値	区分	年					
		R 1 年	R 2 年	R 3 年	R 4 年	R 5 年	R 6 年
脳血管疾患による年齢調整死亡率 (人口10万人対)	男性	33.2	32.6	32.0	32.4	31.4	31.0
	女性	18.0	17.7	16.8	17.0	16.6	16.1
心疾患による年齢調整死亡率 (人口10万人対)	男性	61.9	63.1	62.7	66.3	65.8	63.9
	女性	31.3	30.1	29.9	31.6	30.7	29.8

出典：厚生労働省「人口動態統計」を基に県健康づくり推進課が算出

→脳血管疾患は全国と比べて高い傾向。心疾患は全体としては全国と比べて低いが、心疾患のうち心不全については全国よりも高い傾向がある。

県民の健康の状況① (血圧、脂質異常、高血糖)

○収縮期血圧の平均値 (40～74歳) (mmHg)

		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
男性	秋田県	129.9	129.9	130.1	130.3	130.3	130.4
	全国	126.5	126.6	126.6	127.7	127.3	127.2
女性	秋田県	124.4	124.5	124.7	124.9	125.4	125.7
	全国	121.3	121.3	121.3	122.7	122.5	122.4

○LDLコレステロールが160mg/dl以上の脂質異常の者の割合 (40～74歳) (%)

		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
男性	秋田県	9.4	10.1	10.4	10.7	10.4	10.0
	全国	11.7	12.6	13.0	13.8	13.4	12.0
女性	秋田県	10.5	11.0	11.6	11.7	11.6	10.8
	全国	12.4	13.2	13.3	13.9	13.5	12.1

○HbA1cが6.5%以上の高血糖状態の者の割合 (40～74歳) (%)

		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
男性	秋田県	9.0	9.1	9.7	9.7	9.8	9.7
	全国	9.1	9.2	9.3	9.3	9.5	9.5
女性	秋田県	4.5	4.6	5.0	4.9	5.1	5.2
	全国	4.6	4.5	4.6	4.7	4.6	4.6

参考：全国順位

(数値が高い方から)

○収縮期血圧

	R 2	R 4
男性	3	1
女性	8	3

○LDLコレステロール

	R 2	R 4
男性	47	47
女性	45	44

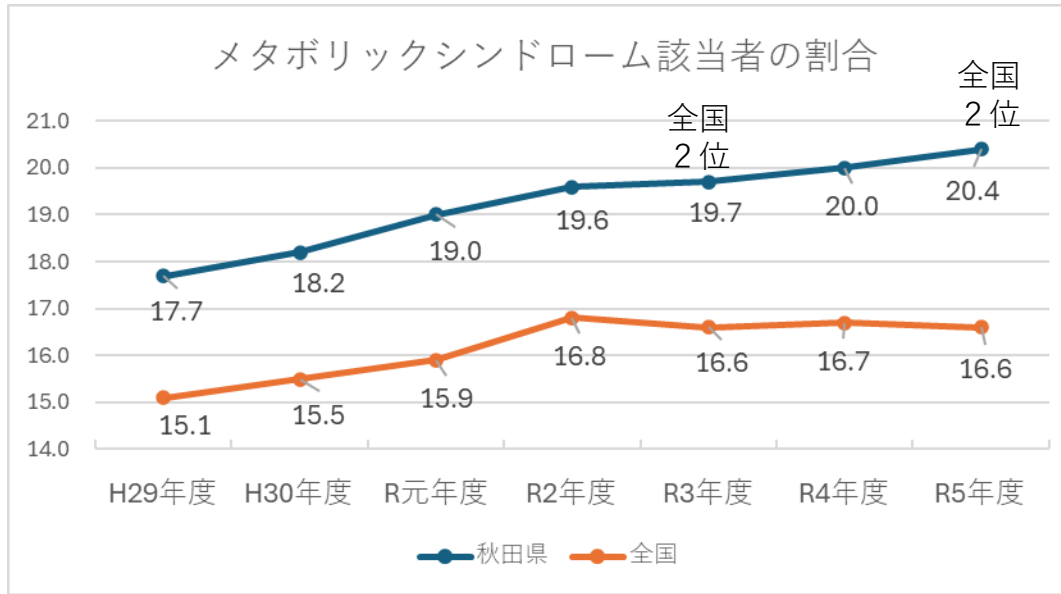
○HbA1c (※)

	R 2	R 4
男性	28	31
女性	28	19

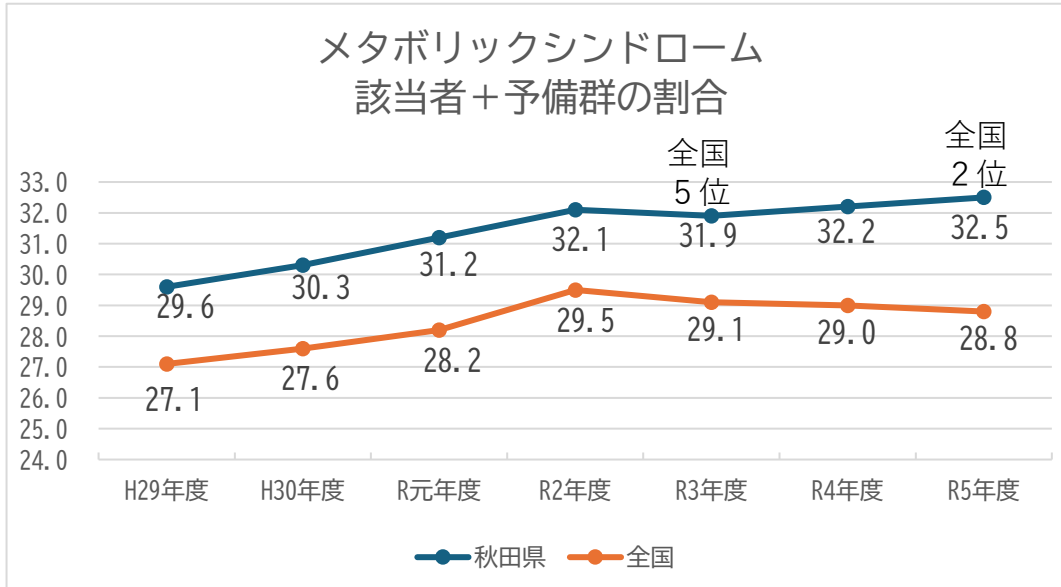
※ヘモグロビンエーワンシー

(過去1～2カ月の平均的血糖値を反映)

県民の健康の状況② (メタボリックシンドローム)



※全国順位は、高い方からの順位



※メタボリックシンドローム予備群

腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上で、①血圧、②脂質、③血糖の3項目のうち1項目が基準値から外れている状態。

2項目以上が基準値から外れると、メタボリックシンドローム該当者となる。

秋田県循環器病対策推進計画 施策の実施状況

計画に掲げている主要な施策と方向性		実施状況
第1節 循環器病対策全体の基盤の整備		
◆ 循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備	・公的な情報収集の枠組みの活用	○県内における循環器病の医療提供体制状況を把握するため、厚生労働省が公表している患者調査やNDBデータを活用しているが、今後、更に効果的な活用方法について検討していく。
	・正確な循環器病の実態把握	○循環器病に関する登録制度の創設について、今後検討を行っていく。
第2節 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発		
◆ ライフステージに応じた生活習慣や社会環境の改善	・健康づくり県民運動の推進	○秋田県版健康経営優良法人は年々増加し、令和8年1月時点では209事業所が認定された。 ○ライフステージに応じた栄養出前講座を開催した。 ・保育所・幼稚園の園児及びその保護者を対象とした「うすあじ教室」(46回、1,635人) ・高校生を対象とした栄養出前講座(2回、39人) ○健康長寿推進員については、市町村に対して人材育成や活動を支援するための交付金を交付するなどし、推進員の活動の拡大を図った。(令和7年度交付実績:5市町村)
	・栄養・食生活の改善	○秋田スタイル健康な食事メニューの認証を行った。(認証メニュー数:140 ※令和7年9月1日時点) ○学校給食を中心とした減塩及び野菜摂取に関する研修会を開催した。(令和7年11月6日、50名)
	・身体活動・運動の改善	○Webサイト「秋田健」やSNSで運動イベントや運動方法の周知を行った。
	・歯と口腔の健康の改善	○一般県民向けの出前講座でオーラルフレイル予防の普及啓発を実施した。(14回、387人 ※令和7年12月末) ○フッ化物洗口の普及のため、年1回の実施状況調査のほか、フッ化物洗口未実施の施設を対象に説明会を実施し、昨年度からの導入施設も継続して実施。
	・受動喫煙の防止及び禁煙	○事業所等における受動喫煙防止対策に関する出前講座を実施した。(5回、148人 ※令和7年12月末) ○禁煙及び受動喫煙防止の各フォーラムを開催した。 ・世界禁煙デー秋田フォーラム2025(令和7年6月1日、約80名) ・受動喫煙防止秋田フォーラム2025(令和7年11月9日、約40名) ○秋田県健康づくり県民運動推進協議会会員企業と連携し、禁煙及び受動喫煙防止対策に関するリーフレットを活用した周知啓発を行った。(配布数約3,200部)

秋田県循環器病対策推進計画 施策の実施状況

計画に掲げている主要な施策と方向性		実施状況
◆ 多様な媒体による効果的な情報発信	・多様な媒体を活用した情報発信	○秋田魁新報社に業務委託し、Webサイト「秋田健」にて情報を発信した。(記事作成数9回 ※令和7年12月末) ○年間数十回出前講座を実施し、健康寿命日本一に向けての取組を発信した。(96回、3,832人 ※令和8年1月末) ※令和8年度には、家族性高コレステロール血症(FH)について、会議等の機会において市町村職員等に対し啓発を行う予定。
第3節 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実		
◆ 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進	・特定健診・特定保健指導等の実施率向上	○医師会と連携したかかりつけ医による受診勧奨のほか、医師会、薬剤師会、歯科医師会と連携し啓発ポスターを掲示し、特定健診・がん検診の受診率向上を図った。(協力医療機関数:204) ○がん対策推進企業等連携協定締結企業と連携した受診勧奨や啓発資材(ポケットティッシュ)の作成、配付などの取組を行った。(作成数24,000個)
	・疾病予防・重症化予防の推進による予防・健康づくりの推進	○保健師、管理栄養士等の保健指導従事者を対象に脳卒中発症予防講習会を開催し、脳卒中の予防法等について学ぶとともにグループワークにより好事例等の共有を図った。(2回開催、合計48名参加) ○食生活の改善を通じた循環器病の正しい知識の普及啓発を行う県民公開講座(セミナー)を県北・中央・県南で開催したほか、啓発資材(チラシ、カレンダー)を作成した。 ・県民公開講座(セミナー) 県北:令和7年10月13日(月・祝)(31名参加) 県南:令和7年10月25日(土)(35名参加) 中央:令和7年11月8日(土)(121名参加) ・作成数(チラシ、カレンダー):計3,300部
◆ 医療提供体制の構築 (救急搬送体制の整備と救急医療の確保)	・速やかな搬送可能な体制の整備	○OMC協議会において、救急救命士や救急隊員の活動内容・手順定めるプロトコルの整備を行うとともに、救急隊の活動内容について医師等を含めた委員で検証し、内容をフィードバックすることにより、救急救命士の資質向上、病院前救護体制の整備、充実を図っている。
	・地域における二次救急医療体制の確保	○R6年度の秋田県地域医療構想調整会議(全体会)において、救急医療をテーマとして集中的な議論を行った。 ○救急科専門医の養成及び確保については、あきた医師総合支援センターと秋田大学が連携して医師のキャリア形成を支援するほか、若手医師等が大学と地域の救急告示病院等を循環する地域循環キャリア形成システムの構築を進めている。 ○地域において救急患者受入の中核的な役割を担っている救急告示病院の運営に対し支援を行った。

秋田県循環器病対策推進計画 施策の実施状況

計画に掲げている主要な施策と方向性		実施状況
◆ 医療提供体制の構築 (救急搬送体制の整備と救急医療の確保) 続き	・第三次救急医療体制の強化と地域間格差の是正	○R6年度の秋田県地域医療構想調整会議(合同会議)において、救急医療をテーマとして集中的な議論を行った。 ○救命救急センターの運営に対し支援を行った。
	・循環器病における救急医療体制	○22救急告示病院が参画する「秋田県急性期画像連携推進協議会(事務局:秋田大学医学部)」が設立されており、急性期画像診療ネットワークに参画する病院に対し、SYNAPSE ZEROの導入経費を助成している。
◆ 医療提供体制の構築 (急性期から慢性期までの切れ目のない医療提供体制の構築)	・高度な医療提供体制の構築	○令和7年度に、市立秋田総合病院の PulsField アブレーションシステム導入に対して支援し、不整脈治療体制の充実を図った。 ○地域医療構想調整会議のほか、地域の病院間でも医療機能の役割分担や連携について協議が行われている。 ○令和8年度以降は、新たな地域医療構想策定のため、地域の医療のデータ分析等を踏まえながら役割分担等についての議論が行われる予定である。
	・症期に応じたリハビリテーションが実施可能な体制の整備・緩和ケアの充実	○令和5~7年度に「心臓リハビリテーション施設設備整備事業」を実施し、5区域において心臓リハビリテーションの実施体制が整備され、県内全8区域において実施可能となった。 ○令和7年4月から、国のモデル事業の採択を受け、秋田大学医学部と県立循環器・脳脊髄センターに設置された「脳卒中・心臓病等総合支援センター」が運営を開始した。 ○センターでは、患者や家族の包括的な支援体制を構築するため、相談窓口業務、県民向け啓発業務、多職種連携に資する会議・勉強会開催等を実施している。 ○センター事業の一環として、脳卒中地域連携パスの全県一本化・パス活用機関の拡大に向けた関係機関での協議が進んでおり、令和8年度は県からの委託事業として引き続き取り組んで行く予定である。
	・医療従事者の総合的な確保対策の推進	【別紙1】 ○循環器病の予防や再発防止等に重要な役割を果たす、高血圧専門医、循環器病予防療養指導士等の専門人材の育成を強化する「循環器病予防人材育成事業」を令和8年度に実施する。
	・かかりつけ医と病院の連携、在宅医療提供体制の整備	○あきたハートフルネットの運用によりかかりつけ医と病院との診療情報の共有化を促進している。 ○在宅患者に対する遠隔診療や移動車両による巡回診療など、医療機関へのアクセスが困難な患者が医療を受けられる体制の整備について引き続き検討していく。

秋田県循環器病対策推進計画 施策の実施状況

計画に掲げている主要な施策と方向性		実施状況
◆ 医療提供体制の構築 (小児期から成人期までの成育過程を通じた循環器病対策)	・移行期医療の推進	○令和7年度に設置した「秋田県小児慢性特定疾病児童等医療相談ワーキンググループ」において、移行期医療支援についての検討を進めている。
	・乳幼児健康診査、児童生徒の健康診断での機会を捉えた早期発見	【再掲】 ○令和8年度には、家族性高コレステロール血症(FH)について、会議等の機会において市町村職員等に対し啓発を行う予定。
◆ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者への支援 (多職種連携による医療・介護連携の促進)	・在宅医療・介護連携の促進と地域ケア会議の機能向上	○令和7年4月から、国のモデル事業の採択を受け、秋田大学医学部と県立循環器・脳脊髄センターに設置された「脳卒中・心臓病等総合支援センター」が運営を開始した。 ○センターでは、患者や家族の包括的な支援体制を構築するため、相談窓口業務、県民向け啓発業務、多職種連携に資する会議・勉強会開催等を実施している。
◆ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者への支援 (後遺症の治療と仕事の両立支援・就労支援)	・治療と仕事の両立支援の体制整備	○令和8年度は、県からセンターへの委託により、引き続き、患者・家族への総合的な支援体制を構築していくこととしている。
◆ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者への支援 (循環器病に関する適切な情報提供)	・県民向けの分かりやすい医療情報の提供	○R6年度より、「秋田県医療情報ガイド」に代わり、全国統一的な情報提供システムである「医療情報ネット(ナビイ)…※」により、医療機関の情報提供を行っている。 ※G-MIS(医療機関等情報支援システム)に医療機関が報告した情報から、医療機関・薬局を検索、閲覧できるウェブサイト。
第4節 循環器病の研究推進		
◆ 循環器病の研究推進	・本県の特徴を踏まえた研究の推進	【別紙2】 秋田県薬剤師会と(一社)スマートヘルスケア協会(代表理事:秋田大学医学部附属病院 岡崎准教授)が協同で、心房細動に関わる啓発活動と適切な受診勧奨を行うことの有用性について調査・研究を行っている。また、新たに協会けんぽ秋田支部とも連携し、加入者にチラシ送付等を実施。